

# 道徳学習指導案

和歌山市立紀之川中学校 森田伊都子

- 1、日時 平成21年10月28日 第5限
- 2、学年 1年5組 (男子17名 女子18名 計35名)
- 3、主題名 内容項目4一(3) 公德心  
公德心及び社会連帯の自覚を高め、より良い社会の実現に努める。
- 4、資料名 「島耕作」～ある日の出来事～ 「中学の道徳 自分を見つめる」(あかつき書籍)
- 5、主題設定の理由

## (1) ねらいとする価値について

現代の日本社会の中で生きる人々は自分さえよければという自己中心的な考え方が多く見られ、社会全体のモラルが著しく低下してきている。このような時代だからこそ、公共心・公德心を理解し、理想的な社会を実現していこうとする意欲を育てていくことが極めて大切である。私たちはさまざまな空間を共有しあって社会生活を営んでいる。その社会が多くの人と生活を共にする場である以上、自分本位の考えを優先させた言動は慎むべきである。そのためには周囲への思いやりや配慮を持って状況を判断し、時と場にふさわしい言動をとることができることができる社会性や、望ましい社会を実現していこうとする意欲を生徒に育てていくことが重要であると考えます。

## (2) 生徒の実態

本校の一年生は、現在のところ生徒指導上の大きく問題となる生徒は多く見られないが、基本的な授業態度が習慣付いておらず、チャイムが鳴って席に座り、ノートや教科書を開いて授業の準備をするまでも個人的な声掛けが必要である。また、授業中の私語・席を立つなどの行動は日常茶飯事のように見る。それに対する罪悪感が見受けられない。こうした状態において、五組は比較的落ち着いた授業を進められている。しかし言葉を換えると積極性に欠ける学級でもある。

道徳の授業では、長い文章を読み取ることは難しいが、生徒の多くは一生懸命考え、自分なりの考えを持とうと努力はする。新しい発想や新しい観点からの読み取りや考え方には、新鮮な感動や喜びを感じることができ素直な感想が返ってくる。しかし、積極的な発言や発表をする生徒は一部に限られている。特に、答えがはっきり分からない質問については、考えがあっても「分からない」と答えてしまうことが多い。そのため、生徒一人ひとりが活動できる場のある授業を設けるように心がけている。今回も、場や登場人物のそれぞれの心情を理解しやすい「島耕作 ある朝の出来事」の資料を選んだ。

社会全体のモラルの低下が問題であるといわれて久しく、自分さえよければよいという自己中心的な発想は、学校生活の多くの場面で見られる。生徒たちには公德心の根底にあるのは、他者に対する思いやりであり、相手の立場を尊重しようとする心であることに気づかせ、実践への意欲を高められるように指導したい。

## (3) 資料について

漫画「課長 島耕作」におけるワンシーンを取り上げた資料である。主人公島は、混雑した電車の中でたいへんな思いをしている老婦人を前に平然と座席に座り新聞を読むサラリーマンに腹を立て、口論となる。二人のやりとりだけを考え合わせると島の主張は正しく、席を譲るのが「公德の心」と言えるだろう。しかし、老婦人や乗り合わせた他の乗客の心境に目を向けると、島の行動は多くの人に不快感を残しただけであるという見方もある。「見て見ぬふり」や「自分に関係ないことだから」という無難な事なかれ主義が広がりつつある日本の社会において、熱血漢島の純粋な思いやりは今の世の中に欠けている道徳心の原点でもあることを評価して、生徒たちに理解させたい資料である。

「互いにいたわる心を持ちたい」の資料に登場する「私」や「会社員」の行動は、他者への思いやりや相手の立場を尊重しようとする気持ちが行動に表れていて、読んでいる者さえ温かい気持ちになれるものである。

この二つの資料を比較することで、社会生活の中に必要なのは、周囲への配慮と思いやりであることを生徒は捕らえられると考えている。

6、本時のねらい

老婦人に席を譲ろうとしないサラリーマンに業を煮やし、電車の中で口論になってしまった島耕作の行動と相手を気遣いながら行動した投書の中の二人の会社員とを比較することによって、公共の場における態度について考え、誰もが気持ちよく過ごせる社会を実現させるために必要な公德心を理解し、実践しようとする意欲を高める。

指導の展開

	学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	今までの生活を振り返る。	<p>あなたは電車に乗って座席に座っています。席の前にお年寄りが立ちました。あなたならどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・譲ろうと思うけど言い出すことができない。</li> <li>・気づかないふりをして座っている。</li> <li>・恥ずかしくて譲れないで座ったままにいる。</li> <li>・勇気を出して席を譲る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に意見を発表させる。</li> <li>・譲ることがいい行動だと分かっているにもかかわらず行動に移せないことを実感させる。</li> </ul>
展開	<p>資料「島耕作 ある日の出来事」を範読話の筋道を確認</p> <p>島の行動について考える</p> <p>サラリーマンの言い分について考える。</p> <p>ロールプレイの役を決める。それ以外の人はおばあさんの立場と周りの人の立場になって聞く。おばあさんの気持ちを考える。</p> <p>周りの人の気持ちを考える。</p>	<p>島耕作の行動についてどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勇気がある行動だと思う。</li> <li>・おばあさんのためを思って勇気を出して言って優しいと思った。</li> <li>・正しいことを行動に移せて偉いと思う。</li> </ul> <p>サラリーマンの行動や言い分についてはどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことばかり言って自分勝手だと思う。</li> <li>・おばあさんはつらそうなのだから譲ってあげるべきだ。</li> <li>・この人も疲れているんだから譲らなくてもいいと思う。元気なときに譲ってあげたらいい。</li> </ul> <p>ロールプレイ</p> <p>あばあさんの立場になった人はどんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のために言ってくれてうれしいけれど、そんなにまで言ってくれなくてもいいのに。</li> <li>・自分のために言い合いになって悪いなあ。</li> </ul> <p>周りの人の立場になった人はどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おばあさんがつらそうだから席を譲ってあげればいいのに。</li> <li>・座っている人の言い分も分かるけど、やっぱり譲ってあげるべきだなあ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島の行動に対する肯定的な意見、否定的な意見も受容する。</li> <li>・島の正義感を評価するようにする。</li> <li>・サラリーマンにも言い分があるが、自己中心的な行動であることを気づかせる。</li> <li>・島の気持ちはうれしいけれど、公の場で自分の主張を言い張る島の行動を迷惑にも感じていることに気づかせる。</li> <li>・島の行動やサラリーマンに対しての肯定的・否定的意見を自由に出させる。</li> </ul>

	<p>資料「互いをいたわる心持ちたい」を範読話の筋道を確認          ロールプレイの役を決める。それ以外の人はおばあさんの立場と周りの人の立場になって聞く。</p> <p>おばあさんや周りの人の気持ちを考える。</p> <p>二人の気持ちの違いに気づく。</p>	<p>・そんなに大きな声で言わなくてもいいのに。          ・朝からさわがしいなあ、静かにしてほしいなあ。</p> <p>ロールプレイ</p> <p>あばあさんの立場になった人はどんな気持ちになりましたか。</p> <p>・「ありがとうございます。」と言って気持ちよく座れると思う。</p> <p>周りの人の立場になった人はどう思いましたか。</p> <p>・いい光景だなあって、見ている方も気持ちよくなると思う。          ・優しい人ばかりでおばあさんもよかったなあ。</p> <p>足の不自由な会社員には見えていて、新聞を読んでいたサラリーマンに見えていないものは何ですか。</p> <p>・おばあさんのしんどさ          ・おばあさんを思う気持ち          ・周りの人への気遣い</p>	<p>・「私」と「会社員」の心遣いで快く座れたことを考えさせる。</p> <p>・「私」と「会社員」の互いの心遣いで、周りの人までも温かい気持ちにさせていることを感じとらせる。</p> <p>・相手を思いやる気持ちの差を感じとらせる。          ・おばあさんや周りの人の気持ちの違いはどこからくるのかを考えることによって、公の場での島の行動が公德心に欠けることに気づかせる。</p>
<p>終末</p>	<p>公德心を理解し、公德心に必要な心遣いに気づく。</p> <p>感想を書く。</p>	<p>みんなが気持ちよく過ごすために必要なものは何だと思いますか。</p> <p>・お互いの気遣い          ・他人への思いやり</p>	<p>・公德心について理解させ、根底にある思いやりの心や相手への心遣いを考えさせる。</p>

評価

生徒

- ・登場人物の心情を考え、その気持ちに起因するもの考えることができたか。
- ・公德心とは、公共の場において相手の立場に立って考えて行動することであることを理解できたか。
- ・公共の場での望ましい態度について考えを深め、実践意欲を高める感想を持つことができたか。

教師

- ・生徒たちに興味を持たせ、意欲を引き出して授業を展開することができたか。
- ・中心発問までに他者への思いやりや配慮が公共の場でも必要であることを、生徒たちに気づかせることができたか。
- ・公德心について理解させることができたか。